

「頑張る地方応援懇談会 in 長崎」議事概要

1 日 時 平成19年2月10日(土) 13:00~15:00

2 場 所 「長崎県市町村会館」
長崎県長崎市栄町4-9

3 出席者

【市町村長】

い	とう	いつ	ちよう	ながさき
伊	藤	一	長	長崎市長
よし	つぐ	くに	お	いさはや
吉	次	邦	夫	諫早市長
しら	はま		まこと	ひらど
白	濱		信	平戸市長
まつ	むら	よし	ゆき	つしま
松	村	良	幸	対馬市長
おさ	だ		とおる	い き
長	田		徹	壱岐市長
なか	お	いく	こ	ごとう
中	尾	郁	子	五島市長
やま	した	じゆんいちろう	純一郎	さいかい
山	下	純	一郎	西海市長
まつ	しま	つぐ	よし	みなみしまばら
松	島	世	佳	南島原市長
ひら	せ		けん	とぎつ
平	瀬		研	時津町長
かめ	やま	はる	みつ	えむかえ
亀	山	春	光	江迎町長

【総務省】

つち	や	まさ	ただ	総務大臣政務官
土	屋	正	忠	
あら	き	けい	じ	官房長
荒	木	慶	司	
こ	ぐれ	じゆん	や	自治行政局市町村課長
小	暮	純	也	
ひら	しま	あき	ひで	自治財政局地方債課長
平	嶋	彰	英	
たき	もと	すみ	お	自治税務局企画課長
滝	本	純	生	
こ	ばやし	よう	いち	九州総合通信局無線通信部長
小	林	陽	一	

4 次第

(1) あいさつ

- ① 土屋正忠 総務大臣政務官
- ② 伊藤一長 長崎市長

(2) 総務省からの説明

- ① 頑張る地方応援プログラムについて
- ② 地方行財税制上の諸課題等について

(3) 意見交換

5 要 旨 〔主な意見〕

(1) 市町村長

- ・ 合併特例債は、何にでも使えると思っていたが、実際は違う。これからの時代の流れはソフト事業なので、合併特例債をソフト事業に使うようにしていただきたい。
- ・ 国における地方の窓口は総務省なので、すべてにおいて総務省は見える形で地方に目標を示していただきたい。また、地方は、どの地域でも頑張っていることを認識していただきたい。
- ・ 重点的に取り組んでいるのは、少子化対策、子育て支援である。
- ・ 観光と農業と水産を連携してやっていくことに取り組んでいる。
- ・ 個性の時代なので、島のアイデンティティというか、地域の差を出していこうということで、まちづくりは人づくり、人づくりは自分づくり、自分づくりは交流からという方程式を作り、国際交流などを行っている。
- ・ 合併しても公共施設の統廃合とその転用による有効活用が、企業誘致等を進める上でも必要となっているが、多くの補助金や起債などの借金により建設したものがほとんどであり、転用するとなるとその返還や一括償還が必要となることからなかなか進められないのが現状である。これらの現状をご理解いただいて、ご配慮をいただきたい。
- ・ 地元の芋、麦を活用した焼酎工場を地元の農家、漁業者、有志などが50万円ずつ出して作りつつあるが、なかなか進んでいない。市の財政にゆとりがあれば支援できるが、支出する余裕がないので、是非とも応援いただきたい。
- ・ キリスタン弾圧時代の集落は、現在、廃校、廃屋が多くなっているが、これらの活用について応援いただきたい。
- ・ 交付税措置に期待しているので、今後ともご支援方お願いしたい。
- ・ 世界文化遺産へノミネートされた長崎キリスト教遺跡軍団を地域振興の材料にし、3,000万人から3,500万人に来ていただける状況をつくりたい。そのため、これから様々な施策をやっていきたいので、是非協力をお願いしたい。
- ・ 高規格道路の整備について、是非とも支援をお願いしたい。
- ・ 台風13号による災害で、行革の成果の半分が吹き飛ばされた大きな痛手があったが、天災なので、特別交付税措置をよろしくをお願いしたい。

(2) 総務省

- ・ 本日は、人口46万人の長崎市から、また、離島の皆さんのところまで多様な都市形態、財政、それぞれ自治体の実態を垣間見ることができ、大変参考になりました。

た。

- ・ 総務省に上がってくる情報というのは、都道府県を通じて上がってくる情報が多いので、地方に出向いて皆さんと膝を交えてということにしたが、生の情報をいただいて大変参考になりました。
- ・ 投資に使うべき合併特例債がソフト事業にも使えないかという大きな宿題をいただいたが、ご意見として承りたい。
- ・ 公共施設の転用をするときに起債の繰上償還が必要になるという話があったが、公共施設の目的外転用に係る公的資金の繰上償還については、補償金なしで繰上償還が可能であり、昨年、その財源として民間資金による借換債を認めようという制度をつくったところである。したがって、起債の方の問題で公共施設の転用が進まないということはあまりないようになっている。ただ、補助金の方は相当厳しいので、我々も各省庁に働きかけていきたい。

(以上)